

2022年 3月 31日

新宿区長 宛て

団体名 特定非営利活動法人 高卒支援会
 所在地 東京都新宿区西新宿7-18-13
 ハイム大成ビル305
 (フリガナ) タケムラ サトシ
 代表者氏名 代表理事 竹村 聡志 印

新宿区協働推進基金助成金事業実績報告書

新宿区協働推進基金条例施行規則第12条の規定により、下記のとおり報告します。

記

| | | |
|---------|--------|-----------|
| 1 収支計算額 | 収入 | 462,346 円 |
| | (内助成金) | 317,000 円 |
| | 支出 | 462,346 円 |

2 助成事業

| | |
|------------|---|
| 事業名 | 外国人をはじめとした高校未就学者支援事業 |
| 実施の日時又は期間 | 令和3年7月から令和4年3月 |
| 対象者の範囲及び人数 | 新宿区在住、新宿区へ通学している高校未就学、高校未就学危機にある方 |
| 事業内容 | 高校未就学、高校未就学の危機の人に対して、インターネット上での情報入手が難しい、都立高校への転入・編入試験や、高校中退者を比較的受け入れてやすい高校の説明や進路相談。また、それに伴う学習支援。 |
| 具体的な活動状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・2021年7月30日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室 (相談者対応→オンライン) 参加者 0人 ・2021年8月27日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室 (相談者対応→オンライン) 参加者 0人 ・2021年9月24日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室 (相談者対応→オンライン) 参加者 0人 |

| | |
|-----------------|--|
| <p>具体的な活動状況</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2021年10月22日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室（相談者対応→オンライン） 参加者 0人 ・ 2021年11月26日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室 （相談者対応 オンラインかオフラインかの選択制） オフライン参加者 2人 ・ 2021年12月24日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室 （相談者対応 オンラインかオフラインかの選択制） オフライン参加者 1人 ・ 2022年1月28日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室 （相談者対応 オンラインかオフラインかの選択制） オフライン参加者 0人 ・ 2022年2月25日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室 （相談者対応 オンラインかオフラインかの選択制） オフライン参加者 1人 ・ 2022年3月25日 実施場所 新宿エルタワー18階 1801教室 （相談者対応 オンラインかオフラインかの選択制） オフライン参加者 0人 <p>参加者総数4名のうち区民の参加は3名。相談会・学習支援事業開催 合計9回</p> |
| <p>事業の成果</p> | <p>事業の参加者は4名と当初の予定を下回ったが、相談・学習支援に関して、実際に相談に来た高校生が、無事Y高校の編入試験に合格し、進路を決めるという成果を出せた。</p> <p>また、この事業をきっかけに、教育機関への啓発普及活動が活発になり、高校未就学に対する現在の教育機関の認識や、対応を聞くことが出来、現状の認識に繋がったことは、今後、新宿区での社会貢献活動をする上で、大きな収穫だった。</p> |

一般事業収支決算書

| 費目 | | 決算額 | 内訳 |
|----------------------|-----------------------|------------------------------------|--|
| 支 出 区 分 | ①使用料及び賃借料 | 0円 | |
| | ②印刷製本費 | 21,902円 | アクセア カラー印刷 22円 × 30枚 = 660円 アクセア カラー印刷 11円 × 447枚 = 4,917円 COPY BOX カラー印刷 35円 × 373枚 = 13,055円 COPY BOX 白黒印刷 8円 × 140枚 = 1,120円 セブンイレブン カラー印刷 50円 × 43枚 = 2,150円 合計 21,902円 |
| | ③消耗品費 | 1,453円 | ダブルクリップ 330円 セムグリップ 133円 リフィールホルダー 330円 テープのり 660円 合計 1,453円 |
| | ④委託費 | 0円 | |
| | ⑤講師謝礼 | 135,000円 | 講師(I・II両方)謝礼費用 15,000円 × 9日 = 135,000円 |
| | ⑥その他謝礼 | 24,000円 | ボランティア謝礼 2,000円 × 2人 × 9日 = 36,000円 但 領収書のない12,000円は助成対象外経費へ |
| | ⑦交通費 | 9,540円 | 団体構成員2名 620円 × 9日 = 5,580円 440円 × 9日 = 3,960円 合計 9,540円 |
| | ⑧保険料 | 0円 | |
| | ⑨その他諸経費 | 0円 | |
| | ⑩新型コロナウイルス 感染症対策経費 | 3,175円 | 消毒液 539円 × 4個 = 2,156円 不織布マスク 768円 ポリ袋 251円 合計 3,175円 |
| | ⑪人件費 | 48,767円 | 団体構成員2名 5,919円 × 9日 = 53,271円 5,445円 × 9日 = 49,005円 合計 102,276円 102,276円のうち、53,509円は助成対象外経費へ |
| 事業費 (①から⑪の合計) | 243,837円 | | |
| ⑫ファンドレイジングに 関する経費 | 0円 | | |
| ⑬助成対象経費 (事業費+⑫) | 243,837円 | | |
| 余剰金(A) | 153,000円 | | |
| ⑭助成対象外経費 | 65,509円 | 人件費 53,509円 その他謝礼 12,000円 (助成対象外分) | |
| 事業総額 | | 462,346円 | |
| 内容 | 決算額 | 内訳 | |
| ⑰事業収入 (参加費、資料代等) | 0円 | | |
| ⑱寄附金 | 円 | | |
| ⑲補助金収入 | | | |
| ⑳協働推進基金助成金交付額 | 317,000円 | | |
| ㉑団体負担金 | 145,346円 | | |
| 収入総額 | | 462,346円 | |
| 余剰金(B) | | 0円 | |
| 返還金 | | 153,000円 | |

一般事業自己評価表

※事業実施における成果や実施にあたっての課題を記載してください。

| 評価のポイント | 自己評価 |
|--|---|
| 事業計画及びスケジュールに沿って事業を実施できたか。 | 相談事業・学習支援事業ともに事業計画及び、スケジュールに沿って事業を実施することが出来た。相談事業では相談員を、学習支援事業では、外国人を両親に持つ子どもの指導経験があるスタッフを配置することが出来た。課題としては、今回事業に対しての周知に関して、学校への周知を行ったが、反応が非常に良かったため、もっと計画的に幅広く行えば、より効果的であったと考える。 |
| 実施にあたって、必要な人員体制がとられたか。安全確保がなされたか。 | 必要な人員は確保ができていた状態であった。実施にあたって、従来のボランティアの方に、継続的な参加を打診し了解を得ることが出来た。また、事前に高校中退がどういった理由で起きるのか？それぞれに対して取れる方法（転入学・編入学・高卒認定）のメリットデメリット、ケースによる研修を行った。 |
| 事業を通じて、多くの区民の社会貢献活動の啓発に役立つものとなったか。 | 外国人をはじめとした高校未就学者 支援事業を通して、新宿区に社会貢献活動の啓発に以下の点で役立つと考えた。 新宿区施設でのチラシの周知や、実際に学校や、教会に事業の案内用チラシを置かせてもらう時に、外国人をはじめとした高校未就学者への支援の重要性を、深刻さなど進路指導の先生等に話をさせて頂いたりする過程で、新宿区が社会貢献活動を行う団体へ事業助成していることを伝えることが出来た。課題としては、新宿区民の活動の場（他団体のセミナーや集まり）にもっと積極的に参加し、垣根を超えて社会貢献活動の啓発を行っても良かったと思う。 |
| 地域課題や社会的課題に対してどのような成果や効果があったか。今後、見込まれる効果はどのようなものか。 | 高校未就学者という社会的課題についての相談者で、具体的な進路決定、学習指導を実施できた例がきちんと出たのは良かった。 Cさんの場合、高校1年生段階で高校に行けなくなり、制度上のことがよくわからずそのまま退学するところだったが、相談事、東京都の転編入制度の説明を行い、退学するのではなく、転校を選び、前向きに進路を捉え、それに伴う学習も支援することが出来た。 今後見込まれる効果としては、周知活動を通じて、特に区の教育関係施設に高校未就学の危機にある生徒に対しては事前相談の重要性や、早期対応の重要性、をきちんと説明することが出来、今後の外国人を始めとした、高校未就学児童の減少に繋がるのではないかと考える。 |

| | |
|---|---|
| <p>団体の先駆性や専門性を活かすことができたか。</p> | <p>まず、外国人を始めとした高校未就学者への支援において、どういった場合に起こるのかなどのケースを知っており周知の際にきちんと説明出来るのが強みになった。(例) 両親が外国人で日本語が不自由というだけでなく、仕事の都合で、帰国子女の場合も学校制度の関係でありえるなど。)</p> <p>また、対応に関しても高校未就学児童の支援の場合、高校の制度への理解が、選択肢を提示する上で、相談者の納得を得やすい側面があった。</p> |
| <p>経費見積りは適正だったか。</p> | <p>経費の見積もりに関しては、基本的に適正であったと考える。また、チラシの作成などに関してもボランティアの方への協力によって修正するなど自分たちで出来る部分は自分たちで行うことで無駄な出費を抑えることにも繋がった。</p> |
| <p>(今回の事業を次年度以降も継続していく場合) 継続性や発展性が期待できるものとなったか。資金確保に努めたか。</p> | <p>資金確保という面では、新宿区の事業限定ではないが、寄付活動が活発化したので、相談事業においては、継続性も期待できるものとなっている。</p> <p>外国人を始めとした高校未就学者への相談事業自体に関しては、継続性は当会の相談事業自体に組み込む形で継続性を確保していきたい。また、発展性に関しては、学び直しをしたい社会人の外国人に対して、高校就学の仕組みを案内できるように公的な支援制度を体系的に案内できるようにすれば、より多くの需要があるのでは無いかと考える。</p> |
| <p>事業の実施にあたって、課題や問題点はあったか。どのような対策が考えられるか。</p> | <p>外国人をはじめとした高校未就学者としたが、外国人をはじめとしたと限定する必要があるのか、実際に高校の訪問時に質問された。発端として、新宿区には東京の中でも多くの外国人の方々が暮らしており、高校未就学のままになっている子どもが多数いる可能性が高いが、そもそも高校に入学すらしていないケースも多く考えられ、学校関係だけでは、周知の不足を感じた。</p> <p>対策としては、未然防止という意味での中学校への働きかけが必要な事と、若者への就労支援、相談をしている機関と連携することで、就学という選択肢を加えて提示すること、学び直しをしたい外国人の社会人の方にアプローチすることが出来るのではないかと考える。</p> |

5 その他

*参加者アンケートの結果を報告してください。

*事業の成果物(冊子等)、事業の開催時の写真等提出できるものがある場合は、添付してください。

アンケート人数合計 4人

1. 相談員の態度

大変満足 1人 満足 3人 普通 やや不満 大変不満

2. オンライン相談の満足度 (3名対面)

大変満足 満足 普通 やや不満 1人 大変不満

3. 相談内容に対して適切なアドバイスが出来ていたか?

大変満足 1人 満足 2人 普通 1人 やや不満 大変不満

4. 設定時間は適切であったか?

大変満足 満足 4人 普通 やや不満 大変不満

5. 相談会の満足度

大変満足 1人 満足 2人 普通 1人 やや不満 大変不満

6. どこで相談会を知ったか? (自由記述)

HP ブログ等 SNS 3人 はっきり覚えていない 1人

| | |
|----------------|--|
| <p>相 談 内 容</p> | <p>1 Aくん 母 母子家庭 Y 高等学校 中学生のときに、認知症のおばあちゃんからお小遣いをもらい合計 300 万円課金している。 スマホゲー、ゲームまではわからず。 ゲーム機も買っており、その都度没収しているが新しいのを買うので、親はもう子どもの部屋に入っていない(ゲーム機を見つけない) 人を見下す、折角入った学校なのでやめたくない(中学1年生のときから成績ビリだが進級ができてしまっているのも動かない) おそらく留年するか転学するか選べと言われる可能性が高いが本人プライドが高く、他の高校は嫌がりそう。留年してしまった場合、結局通えなくなり、中退になりそうだがどうしたら良いか？</p> <p>2 Bくん母 本人 中学1年生時より私立の中高一貫校に所属し、通えていない。 高校進学自体は出来るが、高校は出席日数等厳しく取るので、高校中退しそうでどうしたら良いか悩んでいる。 内部進学するとしてどういったことに気をつければよいかの相談</p> <p>3 Cさん母 Cさん 出席が半分くらい休んでいて留年の危機。 転学という目標があるので今がんばれている。今現在は10単位が確定していて、残りの主要教科は今後のテスト次第。 高校の転校は調べても私立の通信制高校ばかり。 サポート校は調べたが、営業チックだし1年分の学費をはらうというのがいやだ。 調べた高校はだめだった。 教育委員会にもかなり問い合わせをしていた。通信制高校とサポート校の仕組みがわかりづらい。</p> <p>4 Dくん 母 頭痛を訴え、中1の6月頃から不登校です。午前中は頭痛がひどいようで、本人は高校入学のための試験を受けられるのか不安がっている。また、一切勉強等してこなかったが、きちんと高校が卒業できるかが不安。どうしたら良いか？</p> |
|----------------|--|

対 応 内 容

1 本人に対し、留年してしまった場合の選択しや、その際に生じるデメリット(高校中退につながることや、選択肢の少なさ)をきちんと説明した上で、意識を変えてもらうこと。高校のことを、中学の延長だと思い、なんとかなると思っている子どもは一定数いるなど、きちんと先の話をしてあげることがアドバイス。

2 高校進学までにどのように過ごすかについて、保護者と本人の間できちんと約束事を設定する手伝いをしてあげる。

特に生活習慣に関わるものは、甘くしないようお母さんにもアドバイス

3 今取れる選択肢は、学校側に単位の確認をして19単位以上とれそうなのであれば頑張って残って東京都の転校制度を利用するか思い切って、再受験という選択肢もあるとアドバイス。学習指導では、面接対策のコツ、出題内容などに関して指導。

4 不登校歴が長く、長期間勉強から離れていることから、公立の全日制高校や定時制高校、通信制高校での卒業は厳しいとアドバイス。本人のやる気があるのならば、まずは自分のペースで学び直しをすることが、社会復帰に繋がるので、私立の通信制高校に進学したほうが良いことをアドバイス。様々な特色を持つ私立通信制高校に対しての説明も加えた。